

大坂市保育會創立
二十年紀念展覽會
出品目錄

大坂市保育會

(品種は悉く二十年以前使用のものに限れり)

鳥獸野菜果物其他器具類。

一、恩物玩具類

- | 品目 | 數量 | 出品者 |
|---|----|--------|
| 1. 第一恩物六球 | 一組 | 汎愛幼稚園 |
| 2. 第二恩物三體 | 一組 | 同 |
| 3. 第十四恩物織紙 | 一組 | 芦池幼稚園 |
| 編み細工と稱し一分巾の縦横を以て紋形及模様を編み出したるもの。 | | |
| 4. 第五恩物乙積木 | 一組 | 芦池幼稚園 |
| 正立方體十二個半圓柱十二個 三角形(正立方形の四分の一) 十二個 正立方體の一角を落せるもの八個。 | | |
| 5. 寫字板 | 一組 | 同 |
| 6. 二十恩物の手本 | 一組 | 同 |
| 7. ならべ方要具 | 一組 | 同 |
| 8. 第十八恩物摺紙手本 | 一組 | 同 |
| 9. 縫取手本 | 一組 | 愛珠幼稚園 |
| 10. 摺紙手本(紋形、美麗式) | 一組 | 同 |
| 11. 織紙成績 | 一組 | 同 |
| 一分罫三十行のもの。 | | |
| 12. 縫取手本(花鳥類) | 一組 | 同 |
| 13. 第十六恩物連板 | 二組 | 江戸堀幼稚園 |
| 五寸尺六本を連ねしもの。 | | |
| 14. 織紙手本 | 二組 | 同 |
| 15. 手技類手本 | 四部 | 汎愛幼稚園 |
| 16. 活畫(おはなし要具) | 一組 | 西六幼稚園 |
| 17. 數へ方要具 | 三種 | 同 |
| 18. 假名骨牌 | 一組 | 堀川幼稚園 |
| 一枚に一文字としていろは四十八文字を記し | | |



裏面に同片假名を記せるもの。

19. 第十五恩物組板

一組 同

二、額面及寫真類

1. 縫取應用額

三枚 西六幼稚園

2. 摺紙應用額

二枚 同

3. 排方應用額

一枚 同

4. 貼紙應用額

三枚 同

5. 幼稚園入園紀念

一部 辻村秋峯氏

一、入園に際して無邪氣な意匠を加えた臺紙に

寫真を貼りつけて其兒の姓名年齢身長體量撮

影年月日及園名を記入して保存して置きたい

ものです。

二、お友達と一緒に遊戲して居る處などを撮影

させて故意らしくない極めて自然の寫真をと

つて置きたいものです。

三、發育の程度を寫真に撮つてこれをコロタイ

プ印刷の繪端書としてお世話になつた先生や

乃至お友達や親類に贈るのは温情の籠つた記

念表彰のよい方法にて趣味經濟兩方面からも

お勧めしたいと思ひます。

6. 日露戰爭當時の子供の風俗畫

一部 辻村秋峯氏

一、幼稚園 二、小國民の元 三、小國民の元氣

明治三十七年二月初旬保育畫報を作るべく市

内幼稚園の參觀を始めた處、十二日(三十七

八年戰役の宣戰詔勅御發布の翌日)寫生に行

きますと全く其日までにスケッチブックに收

めた平和な圖様がガラリ一變して緊張した戰

争の氣分が全園に横溢して今日までに得た畫

材感想は皆ゼロに歸してしまひましたそこで

此圖を更に得たのでした社會の空氣が直接幼

兒の思想行爲に及ぼす偉大なる感化には實に

驚かされたのでした。

7. 我國幼稚園創始時代の保育現況

二面 辻村秋峯氏

イ、二十遊戯の圖 何れも下畫

ロ、家鳩の圖 大坂故西山琬瑛畫伯筆

8. 大坂市幼稚園の恩人 一面 愛珠幼稚園

明治十七年六月一日開始 愛珠幼稚園の創立

委員 豊田文三郎君 中西儀兵衛君 瀧山瑄

君 原嘉助君

9. 摺紙應用六歌仙額面 一面 浪華幼稚園

10. 家鳩の圖 一面 愛珠幼稚園

11. 寫眞

豊田英雄氏 氏は舊水戸藩士桑原氏の女名士藤

田東湖の姪にして大坂に住せし故工學士桑原

氏の令姉なり同藩士豊田氏に嫁す良人豊田氏

は維新の際京都に於て浪士の爲に暗殺せられ

しにより早く未亡人となり明治八年東京女子

師範學校(現今の女子高等師範學校)設立の際

同校生徒として入學し選ばれて同校教員とな

り明治九年附屬幼稚園創立の際同園保姆に轉

ず後職を辭し舊藩主徳川侯の伊太利全權公使

として赴任せらるるに隨從し歸朝後舊郷里水戸高等女學校教諭となり先般其筋より多年教育の勳功を表彰せられ瑞寶章を授けらる氏は今尙健在なり。

近藤濱氏 氏は舊松前藩士の女にして若き時或

大名の奥向きに勤む明治八年東京女子師範學

校の設立の際同校含監拜命翌明治九年附屬幼

稚園創立の際同園保姆に轉ず後職を辭し東京

市芝區に於て私立として共立幼稚園といふを

開設す後之を田中房子氏に譲り老後を安靜に

送られしも明治四十五年永眠せらる共立幼稚

園は今尙田中房子氏繼續して盛なり。

瀧山瑄氏 氏は明治十三年に愛珠幼稚園を創立

せられし方にして即我國公立幼稚園最初の設

立者の一人なり(大寫眞參照)爾來同園監事と

して明治二十二年まで就任熱心に盡力せられ

同園今日の如き隆盛の基を固められて功績顯

著なる方なり現今は實業方面に従事せらるゝ

傍靜に老後を養はる。

從事せられ功績尠からざりしと。

氏原鏡氏 氏は江戸堀幼稚園膳たけ氏の令姉に

12. 修身訓圖 一組 愛珠幼稚園

して明治十一年本府より選ばれて上京保母見

13. 修身教室掛圖 一組 同

習生として女子師範學校附屬幼稚園に勉學し

明治十六年九月版權許可。

歸阪後當府に於て模範幼稚園を設立し幼兒を

保育する保母見習生が指導に力を致せり氏

三、圖書表簿記錄類

が指導を受けて現今職を奉せる者多人數あり

1. 大阪幼稚園最初の新聞記事

氏は轉じて現本府女子師範學校保母となり職

一部 大阪朝日新聞

を辭するの後は現今に至るも東京に住し悠々

『今一日ハ東區北濱五丁目愛珠幼稚園ノ開設

老を養ひ給へり氏の大坂に於て斯道の爲に貢

式ヲ行ハル、由ニテ弊社ヘモ其招狀ヲカタ

獻せられしことそれ尠からざるなり。

ジケナフセリ』

長竹國氏 氏は東京女子師範學校附屬幼稚園保

愛珠幼稚園創立ニ僅に二行

母傳習所の卒業にして明治十三年大阪愛珠幼

明治十三年六月一日の記事(朝日新聞)です府

稚園保母に就任明治十八年まで熱心に保育に

立模範幼稚園の記事は其頃の新聞紙に半行も

従事せられ其功績見るべきもの尠からざりし

見當りませんそれも其筈です當時府會が一も

と、現今は東京に在住せらる。

二もなく中學校と共に一撃の豫算を叩き潰し

巽セイ氏 氏は明治十二年府立模範幼稚園の見

てしまひ突然の廢園廢校で關係職員をして途

習卒業にして愛珠幼稚園に就任し多年保育に

方に暮れしめた程左様に保育事業ニ子供ニと

いふものを社會が無視して居たのです。さて現在
は？

2. 幼稚園方法筆記帖 一冊 氏原 鍾氏

氏原氏が明治十一年上京保姆見習生として女子師範學校附屬幼稚園に（現女子高等師範學校）勉學せし當時の筆記にして獨逸保姆學校卒業松野クララ先生の幼稚園方法に就ての講義を幹事關信三氏が譯せられしを筆記せしものにして約四十年前のものなり。

3. 唱歌琴譜筆記帖 一冊 同

是も亦當時の唱歌にして宮内省式部寮伶人より學びしものなり雅言のもの多く子供本位にあらざれば幼兒に適せざれども唯風車のみは現今も歡迎せられ居れり。

4. 幼稚園卷之中 一冊 高臺幼稚園

5. 高臺幼稚園規則 一部 同

明治二十七年五月一日達

6. 幼稚園法二十遊嬉全 一冊 愛珠幼稚園

（關信三纂輯）明治十二年三月十七日版權免許
7. 幼稚園（谷口政德著） 一冊 高臺幼稚園

明治二十三年三月印刷

8. 幼稚園記（關信三譯） 四冊 同

一、二、三、附錄明治九年七月出版高等師範學校御拂下

9. 幼稚園案内（山田未堅
日柳喬編） 二冊 同

一、二、明治十七年三月版權免許

10. 幼稚園（桑田親五譯） 三冊 汎愛幼稚園

上、中、下、明治十九年一月文部省發行

11. 西洋教の杖 三冊 浪華幼稚園

（加地爲也譯述）明治六年九月新刻

12. 唱歌筆記帖 四冊 愛珠幼稚園

13. 箏之譜 一冊 同

14. 大阪幼稚園手引 一部 同

明治十二年大阪府學務課

15. 和琴之譜 一冊 同

16. 大阪愛珠幼稚園志留辨 一部 同

明治十三年六月

17. 愛珠幼稚園保育法傳習科規則

一部 同

18. 大阪市幼稚園規則

一部 同

明治二十二年十月。

四、樂器類

1. 笏拍子

一組 愛珠幼稚園

明治九年我國幼稚園創立當時唱歌遊戲の際和琴と合奏使用せしものなり。

(枇杷の木にて製す)

2. 和琴(六弦)

一面 愛珠幼稚園

明治九年我國幼稚園創立當時唱歌并に遊戲の際に笏と共に合奏使用せしものなり。

(昔は民間に使用許されざりしと)

3. 胡弓(四弦)

一挺 金甌^{キンオウ}幼稚園

明治十九年頃の幼稚園にて唱歌并に遊戲の際に笏拍子和琴と共に合奏使用せしもの、現今

の胡弓はこれより變化し糸三筋となれり。

以上

(大正六年拾月拾參日大阪市東區汎愛幼稚園に於て)

○「青兒物語 一姫二姫三太郎」(葛原幽氏著)

『大正幼年唱歌』の著者として、幼稚園の方々知られて居る葛原幽氏の近著『一姫二姫三太郎』は誠に趣味深い好著である。青兒物語と題して小説風に書いてあるが、一方には親心の記述であり、又一方には親の慈悲から觀察せられ、記述せられた、うるほいのある兒童研究ともいへやう。兒童を知るものは科學者ばかりでない。殊に兒童をほんとうに記述することは、科學だけでは到底出来ない。此種の著述の從來我國に少いことは、吾々の甚だ遺憾とせるところであつた。我々は親としても、兒童研究者としても、此書を愉快に迎へるものである。(東京牛込區南北社發行定價金一圓)